



2001
夏季号

ほっと石川

[特集]

■高校生県政ニュース

◎豊かな文化土壌に新しいシンボルが生まれる

「いしかわの個性を全国に発信」





西村 瞳さん (2年) 荒木 由紀子さん (2年) 水摩 幸子さん (3年) 白瀬 太さん (3年) 村田 仁人さん (3年)

今、金沢城址公園では金沢城菱櫓、五十間長屋、橋爪門統櫓の復元が行われています。金沢城址は、戦国の昔は尾山御坊、江戸時代は金沢城、明治・大正・昭和前期は陸軍、そして戦後は金沢大学の敷地となり、これまで一般には開放されていない空間でした。しかし、平成八年の金沢大学移転を機に県が国から城址全体を取得し、県民の声も参考にしながら城址の活用を考え、菱櫓など城郭の復元が決定されたそうです。

金沢城址の歴史の中で初めて一般に開放される

金沢城菱櫓、五十間長屋、橋爪門統櫓が完成間近となり、明治以降、国内で最大の木造城郭建築といわれる威容を現しています。谷本知事の案内で、石川の伝統的建造技術の粋を集めた金沢城を見学しました。



百万石文化の継承 金沢城址 金沢城菱櫓・五十間長屋・橋爪門統櫓

「どうせなら本丸を」と思う人もいるでしょうが、現在、本丸跡は広大な森となっています。以前は金沢大学の植物園となっていたところで、都市の真ん中にありながら、モリアオガエルも生息するといふ貴重な自然を破壊する必要はありません。再建の参考になる資料が残っていないということも手伝って、本丸の復元までは計画されなかったそうです。

右から、菱櫓、五十間長屋、橋爪門統櫓。

知事 「金沢城はこれまで、県民の皆さんに開かれたものではなかった。今後は県民共有の財産として、大いに利用してほしい」

水摩 「城址公園がオープンしたら、ちょくちょく遊びに来たいですね」

◆金沢城址
◆県立音楽堂
◆夢みどりいしかわ2001
この九月、金沢城の復元、石川県立音楽堂の開館、第十八回全国都市緑化いしかわフェア「夢みどりいしかわ2001」の開催など、石川の魅力を全国に向けて発信する事業がめじろ押しです。今回は、金沢泉丘高校新聞部の皆さんに県政ジュニアジャーナリストとして、整備が大詰めを迎えたこれらの施設をレポートしていただきました。

いしかわの個性を 全国に発信

特集
豊かな文化土壌に新しいシンボルが生まれる
高校生県政ニュース

Contents 目次 2001 夏季号

- 特集
高校生県政ニュース …2
いしかわの個性を全国に発信
- 空からみた石川 …… 12
能登半島国定公園
九十九湾園地
- 利家とまつ(シリーズ第3回) ……14
- インタビュー ……16
女優 中原果南さん
- 知事の窓 ……17
- ほほえみ ……17
さざんかの会
- 施設ガイド ……18
古代体験ひろば
(県埋蔵文化財センター)
- くらしのチエ袋 ……20
キャンプ
- 広報誌アンケート ……21
- 市町村 TOPICS …… 22
能登島町
- INFORMATION ……23
いしかわ自然学校

表紙について

「片野海岸・長者屋敷跡」(加賀市)
●木版画/谷内正遠さん(津幡町在住)

加賀市片野海岸の長者屋敷跡が今回の表紙のモチーフです。長者屋敷跡とは、同海岸南端にある凝灰岩でできた奇岩のこと。青い空、青い海の風景の中に、乳白色の奇岩がある様は、ちょっと不思議な雰囲気です。昔、牛首長者と呼ばれる人物がこの地に住んでおり、この長者には美しい娘がいましたが、実はその娘は近くにある大池(鴨池)の主だったという伝説が残っています。

棟梁に聞く



橋爪門統櫓棟梁
大谷 石雄 さん

「櫓の土台づくりが一番苦労しました。木は生きているので、時間がたつと反ったり伸縮するなど変化して、軸組みが思い通りにならず大変でした。城が大きいだけに、小さなズレが大きなズレになるので、木の細工には十分注意しました」と大谷さんは話してくれました。

金沢城復元に携わっている職人さんのほとんどが石川県の人だそうです。工事にかかった延べ人数は約6万人と聞き、驚きました。職人さんの中には20代の人もいますが、30年後、50年後の修繕を見越した伝統技術の継承のために、若い人にも参加してもらっているそうです。



梁と梁を組み合わせた複雑な構造。木材建築ならではの美しさを感じられます。古絵図、古文書、古写真のほか、石川門の木組みなども参考に設計されました。

古くからの日本の木造建築は、すべて「木造軸組工法」でした。くぎを一切使わずに継ぎ手や仕口を用いて部材の緊結を図り、高い強度を実現しています。



●お問い合わせ

石川県土木部営繕課

TEL. 076 (223) 9317 FAX. 076 (223) 9468

●工事の進ちょく状況は県ホームページでも紹介しています

URL <http://www.pref.ishikawa.jp/eizen/sintyoku/siro/hisiyagura.htm>

西村 「壁の中を三層に分けて、どっという風に壁が作られているか見えるようにしてあるんですね」
知事 「竹を組み、そこに土を塗っていく伝統の技を、多くの人に知ってもらいたいね」



水摩 「橋爪門統櫓前のこの門を、橋爪一の門というんだって」
荒木 「その右側に続く塀は、鶴の丸土塀というそうですよ」

伝統工法に従い、一切くぎを使わず復元工事に挑む
菱櫓、五十間長屋、統櫓は、明治以降の木造城郭建築では日本最大のもののだそうです。伝統工法を忠実に取り入れ、櫓の木組みには一切くぎを使っていないそうで、実際に巨大な櫓を目の当たりにすると、その技術力の高さに驚かされます。ことに菱櫓は、平面図を見るとその名の通り菱形をしており、内部も柱やはしごなど、目に入る部材の断面は、すべて菱形になっています。
これは城を壮大に見せると同時に、内部の美観を損ねないためだそうで、工事に携わっている皆さんは、さぞや苦労されたことだと思います。

【五十間長屋】 城壁と倉庫を兼ねた二層の長屋。金沢城にはほかにも四十間長屋や九十間長屋など多くの長屋が存在した。三十間長屋は現存している。
【橋爪門統櫓】 菱櫓と対をなし、二の丸を防護すると同時に橋爪門の防衛力を高める三層の櫓。規模は菱櫓よりやや小さく、高さ約十五メートル。
【橋爪一の門】 三の丸から城の中核部の二の丸、本丸への入口となる門。様式は高麗門。
【鶴の丸土塀】 三の丸と鶴の丸の内堀沿いに続く土塀。なまこ壁や石落しなど金沢城らしい技巧が用いられた。



西村 「ここを、石落ししてどっこうなんです。対して、ここから攻撃するんですけど」
村田 「確かに高いな。ここは地上十一メートルくらいあるらしいね」



菱櫓の内部。天井の木の交差も、一角が100度、もう一角が80度の菱形になっています。



知事 「石垣は当時のものを一部新たに組み直したんだよ」

村田 「間近で見ると、本当に大きいですね」

二十一世紀は文化集積のある石川の時代

わたしたちは、谷本知事に金沢城復元についてお話をうかがいました。「石川は、四百年の歴史と文化を持っている。金沢城はそれらを後世に伝え残すシンボルであると同時に、石川がこれから全国へ発信する文化のシンボルである」。菱櫓、五十間長屋、統櫓に期待される役割について、知事はこう答えてくれました。
二十世紀、日本人は物質的な豊かさや経済的な量の拡大ばかり追い求め、質や心の充実を置き去りにしてきました。しかし、二十一世紀を迎え、心を満たす質の高さや精神的な豊かさが必要とされるようになり、「文化の集積など、質の面で他にひけをとらない石川の時代がやってきた」と知事は強調します。
量から質、画一から個性への転換が行われていく中で、金沢城址の復元は、新しい石川を創り出す先駆けと言えるのではないだろうか。
「温故知新」という言葉があるように、伝統文化を知ることだけでとどまっていたら意味がありません。今回の復元により、県民が自分たちの歴史や文化を見つめ直す一方で、それを礎に新しい石川の文化や個性をはぐくんでいかなければならないのです。

【菱櫓】 高さ約十七メートルの三層の木造櫓。名前通り全体が百度と八十度の菱形になっており、柱や土台も菱形に加工されている櫓。
復元される建造物



知事 「お年寄りや障害のある方にも見てもらえるよう、各櫓とも現代的なバリアフリー設計になっていて、中には、エレベーターや階段昇降機も備えているんだよ」

白瀬 「見学者のために新しい工夫もされているんですね」

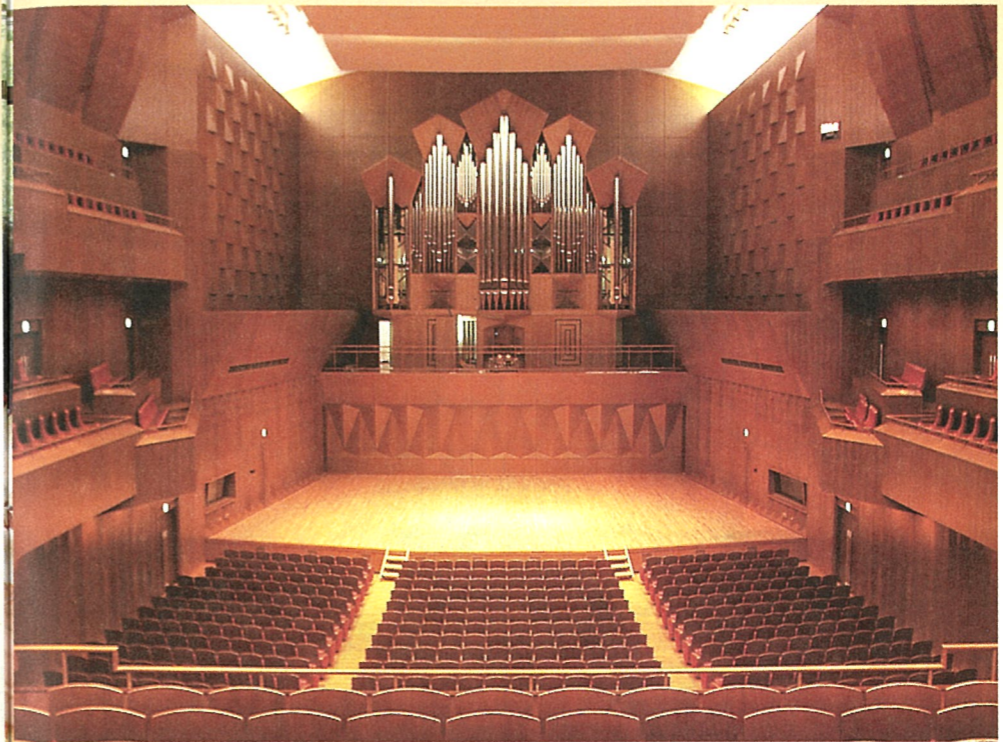
2

REPORT

伝統と創造のステージ

石川県立音楽堂

コンサートホール



シューボックス（靴箱）型のホール形状など、コンサートホールはクラシック音楽専用の設計がなされており、席数は1560席。正面には、約5200本ものパイプを組み合わせたパイプオルガンを設置。荘厳な響きが多く聴衆を魅了しそうです。

藩政時代からの伝統に培われた邦楽文化と、オーケストラ・アンサンブル金沢に代表される新しい音楽文化の交流拠点として、JR金沢駅の東側隣接地に今年九月十二日、石川県立音楽堂が開館します。開館を間近に控えた同館取材しました。

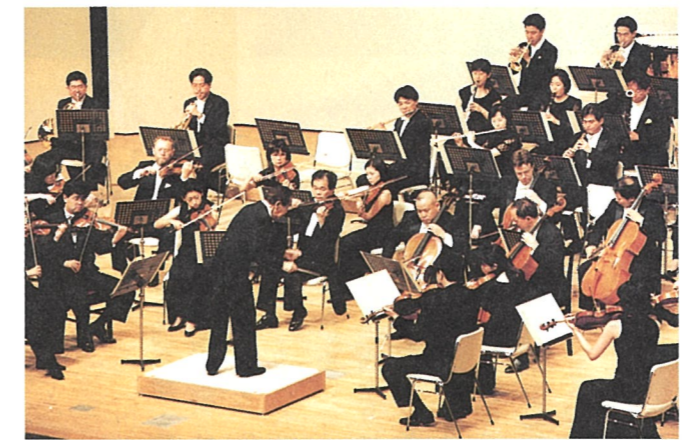
クラシックの演奏に最適な音響設計

石川県立音楽堂は、コンサートホール、邦楽ホール、多目的に使用できる交流ホールの三つを中心に構成されています。石川の音楽文化を全国に発信するべく造られました。コンサートホールは、パイプオルガンを設置し、ドイツ人技師を招いての調整もされています。また、オーケストラ・アンサンブル金沢の編成に合わせて、最も良い響きが生まれるように設計されています。

オーケストラ・アンサンブル金沢のコンサートマスター、松井直さんは「ホールは一つの楽器」と話し、同じ音楽でもホールによって響きが違くと説明してくれました。そして「ここを本拠地としていろいろな活動ができるというのは、大変うれしいことです」と、語ってくれました。このホールができたことで、これまで以上に質の高い音楽に触れることができるのではないかと実感しました。



オーケストラ・アンサンブル金沢
コンサートマスター
松井 直 さん



コンサートホールは、国内外で高い評価を得ているオーケストラ・アンサンブル金沢のフランチャイズホールとなります。

邦楽ホール

長唄、箏、日本舞踊など、
伝統芸能、民俗芸能を上演



邦楽ホールは、長唄、箏（琴）など、金沢に古くから伝わる伝統芸能にふさわしい舞台になっています。音の響きや舞台装置など、邦楽に合わせたものになっていますが、邦楽だけでなく、演劇やピアノの発表会、弦楽四重奏など幅広い分野に利用できるそうです。

邦楽と洋楽という性質の異なる音楽の上演の場を、音楽堂という同じ一つの器の中に入れたのには、大きな理由、メリットがあります。演奏する側はもちろん、聴衆が音楽堂内を行き来することで、普段は気にもとめていなかったジャンルに関心をもち、新たなファン層を広げることができます。

邦楽は、わたしたち若い世代には縁遠い音楽でもあります。しかし、じかに邦楽の音や楽器に触れることで、興味を持つことができます。県立音楽堂の完成をきっかけに、県内に音楽文化の多様な発展が期待できます。



邦楽ホールは、回り舞台や迫り、可動式本花道などの舞台装置を備え、歌舞伎や舞踊などの多彩な公演も可能です。席数は720席で、1席に4人座れる棧敷席も左右5席ずつの計10席用意されています。



本県の長い伝統に培われ受け継がれてきた伝統芸能が上演されます。



邦楽ホールのロビーには、九谷焼の陶板を設置。そのほか、内装に漆塗りや朱壁など石川の伝統を生かしています。

●お問い合わせ
石川県民文化局文化振興課
TEL. 076 (223) 9102 FAX. 076 (223) 9379

インタビュー

石川県邦楽舞踊
特選会理事長 杵屋 喜澄 さん

素囃子とは、どのような
芸能なんですか？

杵屋 長唄に鼓や太鼓、笛などが加わった「和風オーケストラ」のようなものです。料亭などで演奏されることが多いですね。

舞台の利用者として県立音楽堂に期待されることは。

杵屋 邦楽ホールの建設に際して、いろいろと要望を聞いていただいたので、完成を大変楽しみにしています。舞台と客席が近く、マイクを通さない生の音を多くのお客様にお聞かせできればと思っています。

杵屋 喜澄 さん

長唄、素囃子の師匠。杵屋さんは、お母さんの代から長唄、素囃子のかかわりがあるそうで、手ほどきもお母さんから受けたとか。芸は継承され、今、娘の六以満（ろくいま）さんも長唄、素囃子の普及に努めています。



REPORT 3

第十八回全国都市緑化いしかわフェア

2001 夢みどりいしかわ

都市中心部に
多くの緑を残す金沢

緑化フェア事務局によると、金沢城址公園で緑化フェアを開く理由は、菱櫓、五十間長屋、橋爪門続櫓等の整備が進められてきた金沢城址公園のお披露目をより効果的に行うためと、金沢城址に緑化フェアにふさわしい多くの緑が残されているからだそうです。

金沢城は、加賀一向一揆の時代から、金沢のシンボルとなってきた場所です。戦災にも遭っていません。都市の中心にこれほど緑のある所は他には少ないそうです。

これまで他県で開催されてきた緑化フェアは、開催都市の郊外で開かれるケースがほとんどで、金沢のように街の中心部で実施できる点は大きな魅力です。

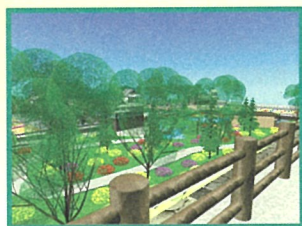
また、緑化フェアを訪れた人が、県内の観光施設や商店街などにも立ち寄り、寄ってくれることによって、街が活性化されることも期待されています。

「人とみどりが織りなす
文化のくにづくり」

事務局では、今回のフェアに百万人のお客さんを迎えることを目標としているそうです。来年一月からは、大河ドラマ「利家とまつ」も始まります。これらをきっかけに、全国へ石川の素晴らしい文化とその魅力を発信し、より多くの人に石川へ足を運んでもらうことが最大の目標です。

緑化フェアは、金沢市のほかに七尾市や加賀市を拠点協賛会場としていて、県内の全市町村で緑と花の大切さをPRします。メインテーマである「人とみどりが織りなす文化のくにづくり」が十一月十一日までの六十五日間、県内全域で繰り広げられるのです。

また、緑化フェア終了後は、イベント用の仮設物を撤去し、再び公園の整備が続けられる予定です。城址公園全体の整備は、平成十七年まで続くとのことで、工事すべての終了も待ち遠しく感じます。



※イメージ画
本丸展望広場からの眺め。金沢城址の橋爪門続櫓や庭文化園を見渡せます。

取材を終えて



谷本知事が「石川は21世紀という時代に合っている」と語ってくれたように、石川には、その質の高さを世に問える文化がたくさんあります。約400年にわたって蓄積されてきた石川の伝統文化は、今まであまり全国に発信されずにいましたが、今回の取材で、大谷石雄さんや松井直さん、杵屋喜澄さんとお話することで、わたしたちは改めてそうした石川の文化の厚みや素晴らしさを認識することができました。

今、金沢城という県のシンボル、県立音楽堂という音楽文化発信の「器」ができつつあります。これから石川の文化が国内外に広く発信されていくはず。情報発信を通して、この先、石川がどのように変化してゆか、楽しみです。

取材 / 金沢泉丘高校新聞部
村田仁人
白瀬太
水摩幸子
荒木由紀子
西村瞳



マスコットキャラクター「みどり」

金沢城址会場案内

- ① もてなしの庭
- ② 森のシアター
- ③ 庭文化園
- ④ いざないの庭
- ⑤ 夢みどりガーデン
- ⑥ 花の館
- ⑦ 緑の館
- ⑧ ほっと石川観光情報館
- ⑨ 夢みどりステージ
- ⑩ 子ども夢花壇
- ⑪ 花の空中回廊
- ⑫ 花のトンネル
- ⑬ 五十間長屋

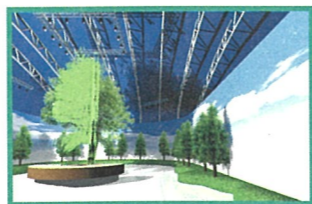
●お問い合わせ

第18回全国都市緑化いしかわフェア
実行委員会事務局

TEL. 076 (261) 0101 FAX. 076 (261) 0505

金沢市丸の内1番1号

URL <http://www.yumemidori.com/> e-mail midori@pref.ishikawa.jp



※イメージ画
⑦緑の館
こころよし隊
神津善行さんによる植物の出す生体電流を音楽に変換した珍しい試み「緑が奏でる音楽会」が催されます。



※イメージ画

⑫花のトンネル

壁や天井が花に覆われたトンネル。花を仰いで見るなど、普段とは違った花の楽しみ方が体験できます。



※イメージ画

②森のシアター

NHKの人気キャラクター「忍たま乱太郎」のアニメと着ぐるみによるミニシアター。フェアオリジナルストーリー「ココロに愛の花が咲く」では、金沢城の若君「つる丸」くんも登場します。

金沢城址公園を主会場に、第十八回全国都市緑化いしかわフェア、夢みどりいしかわ2001が、九月八日から開幕します。同フェア事務局を訪ね、夢みどりいしかわ2001について聞きました。

第18回 全国都市緑化いしかわフェア
夢みどりいしかわ2001

抽選でグアム旅行などが当たる!!

懸賞付き前売券、好評発売中

●応募締め切り9/7(金)

主会場 **金沢城址公園を中心とする
兼六園周辺文化ゾーン** 2001.9.8~11.11

普通入場券 お1人様、1日限り有効 ※当日に限り再入場できます

- ◎大人 (18歳以上65歳未満) 1,200円 (当日券 1,500円)
- ◎小人 (小学生以上18歳未満) 500円 (当日券 700円)
- ◎高齢者 (65歳以上) 600円 (当日券 800円)

全期間入場券 (パスポート) 期間中何度でも入場できます

- ◎大人 (18歳以上65歳未満) 2,500円
- ◎小人 (小学生以上18歳未満) 1,000円
- ◎高齢者 (65歳以上) 1,200円



■未就学児、身体障害者手帳保持者等とその介護者等は無料
■金沢市中心部で利用できる北陸鉄道バス利用券2枚付き
■入場券の提示で、開催期間中1日限り兼六園に無料で入園できます
■前売券のお買い求めは (※一部、全期間入場券を取り扱っていないところがあります)
実行委員会事務局、旅行代理店(ジェイティービー、近畿日本ツーリスト、日本旅行他)、香林坊大和、小松大和、高岡大和、名鉄丸越プレイガイド、七尾バトリア、アル・プラザ各店、ジャスコ各店、アピタ金沢、アピタ松任ティオ、109香林坊プレイガイド、金沢百番街、うつのみや各店、JR西日本みどりの窓口、郵便局各窓口、3Tちようじゅ (アトリオ地下1F)、JEE-SA、ルネスかなざわ、つるぎショッピングスクエアレッツ、のと鉄道各駅、金大病院内(財)済美会、小松空港案内カウンター、県庁互助会、北陸園芸商組合員店、**サークルK**

交通のご案内



■会場・文化施設のご案内
期間中、県立美術館、県立歴史博物館、成興閣、石川近代文学館、藩老本多蔵品館、市立中村記念美術館、県立伝統産業工芸館では特別展示などが予定されています。

各施設で都市緑化フェア入場券をご提示ください。
フェア期間中、団体割引料金で入場できます。

●マイカーの方は金沢市近郊の駐車場から無料シャトルバスをご利用ください。
※会場周辺にはフェア専用の駐車場はありません

拠点協賛会場

第18回全国都市緑化いしかわフェア七尾

会場 ●七尾フラワーパークのと蘭ノ国
期間 ●2001.8.12~9.16

入場券 お1人様、1日限り有効
◎大人 1,000円 (前売券・当日券共)
◎小人 300円 (当日券のみ) ※幼児は無料

●お問い合わせ
全国都市緑化いしかわフェア
七尾実行委員会事務局 (七尾市役所都市整備課内)
TEL. 0767(53)8427

都市緑化フェアKAGA2001

会場 ●柴山湯、片山津温泉街及び周辺地域
期間 ●夏季 2001.8.4 ~8.19
秋季 2001.11.3~11.11

●お問い合わせ
全国都市緑化いしかわフェア
加賀市実行委員会事務局
(加賀市役所産業環境部緑化推進室内)
TEL. 0761(72)7885

●お問い合わせ

第18回全国都市緑化いしかわフェア実行委員会事務局

TEL 076 (261) 0101 FAX 076 (261) 0505

金沢市丸の内1番1号

URL <http://www.yumemidori.com/> e-mail midori@pref.ishikawa.jp

感動“響鳴”のステージの数々



石川県立音楽堂
ISHIKAWA ONGAKUDO

コンサートホール
Concert Hall



- 9/12 祝賀演奏会
指揮 岩城宏之/オルガン 小林英之
- 9/14 OEK公演「第九」
指揮 岩城宏之/オルガン 小林英之
- 9/15 県民交響楽団・合唱団「四季、惑星」
指揮 岩城宏之
- 9/16 オラトリオ「前田綱紀の時代」
脚本 佐々木守/作曲 池辺晋一郎
- 9/20 OEK特別定期公演
指揮 岩城宏之/ヴァイオリン 角田美樹
- 9/23 パイプオルガンコンサート
オルガン マルティン・ハーゼルバック

- 10/2 OEK特別定期公演
指揮 井上道義
- 10/17 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
指揮 サイモン・ラトル
- 10/26 パイプオルガンコンサート
オルガン 小林英之
- 10/28 イギリス室内管弦楽団
指揮 ピアノ ラドゥルブ

- 11/1 ピアノ・リサイタル
ピアノ ヴァレリー・アフナシエフ
- 11/3 三文豪のオーケストラ歌曲作品コンクール
指揮 岩城宏之
- 11/7 ピアノ協奏曲の夕べ
指揮 手塚幸紀
- 11/13 パイプオルガンコンサート
オルガン 井上圭子
- 11/17 OEK特別定期公演
ギンター・ビヒラーと仲間との共演
- 11/21 イタリア年記念演奏会
指揮 ギンター・ビヒラー
- 11/24 男声合唱の夕べ
日本男声合唱協会の全国大会
- 11/25 イルクーツク州立交響楽団
友好交流によるロシアからの招へい
- 11/29 フルート四重奏公演
フルート エマニュエル・バコ

●このほか、国際音楽の日フェスティバル (10月1日前後)、
2001ピエンナーレいしかわ秋の芸術祭 (10月13日~11月25日) を予定しております。
※日時等は変更になる場合がありますのであらかじめご了承ください。

石川県立音楽堂開館記念事業一覧

石川県立音楽堂は、9月12日に開館記念式典を行い、
9月14日から半年間にわたって多彩な公演を繰り広げます。

- 12/1 スウェーデン放送合唱団
世界最高と評価されている合唱団
- 12/2 アマチュアオーケストラの祭典
県内のアマチュアオーケストラによる公演
- 12/9 ドレスデン国立歌劇場室内管弦楽団
指揮 ヘルムート・プラニー
- 12/25 ルクセンブルグ・パイプオルガンコンサート
オルガン ビエール・ニマックスJr
- 1/20 キング・オブ・ジャズ
猪俣猛、前田憲男ほかによるジャズ公演
- 1/26 OEK特別定期公演
リーダー 安永徹/ピアノ 市野あゆみ
- 1/27 パイプオルガンコンサート
オルガン 三浦はつみ
- 2/17 OEK室内楽特別公演
ピアノ 中村麻子
- 2/24 OEK特別定期公演
指揮 ドミトリー・キタエンコ
- 2/28 パイプオルガンコンサート
一流のオルガニストによる公演
- 3/16 OEK特別定期公演
指揮 岩城宏之/独奏 林英哲
- 3/26 パイプオルガンコンサート
一流のオルガニストによる公演

- 10/2 文楽
(財)文楽協会による地方巡回公演
- 10/6 大正琴 in いしかわ
県内の大正琴の団体による演奏会
- 10/14 沖繩組踊特別鑑賞会
文化庁による重要無形文化財の公開事業
- 10/16 OEK室内楽特別公演
フルート ウィリアム・ベネット
- 10/20 創作舞踊劇「利家とまつ」
作 高橋秀雄/作曲 中島勝祐

- 3/10 邦楽・三趣会
壺田善三久、田島佳子、山勢松韻による邦楽公演
- 3/20 歌舞伎フォーラム
歌舞伎を観賞するポイントのわかりやすい解説と実演
- 3/23 アマチュア劇団公演
(財)地域創造の支援によるオリジナル作品
- 3/31 こども伝統芸能フェスティバル
伝統芸能を受け継ぐ子どもたちの発表の場

交流ホール
Kouryu Hall

- 9/16 ダンスフェスティバル
幅広く県民が参加できるダンスの祭典
- 9/29 ウィークエンド・シアター
大型映像装置によるオペラ、バレエなどの放映

- 10/8 アマチュアスポーツダンス大会
石川県アマチュアダンス連盟による大会
- 10/11~25 楽器博物館展
歴史的楽器とパネル展示

- 11/30 楽器の歴史~チェロ
楽器の歴史と作曲家のエピソードを話と演奏でつづる

- 12/9 パーカッション・ワークショップ
デビッド・ジョーンズ
- 12/15 ティータイム・クラシック
気軽に室内楽を楽しむコンサート

- 1/12 ウィークエンド・シアター
大型映像装置によるオペラ、バレエなどの放映
- 1/18 チェンバロ・サロン・コンサート
チェンバロと弦楽器のアンサンブル

- 2/7~19 タレント美術館
各界の著名人が作ったアート作品の展示
- 2/23 ウィークエンド・シアター
大型映像装置によるオペラ、バレエなどの放映

- 3/14 楽器の歴史~ピアノ
楽器の歴史と作曲家のエピソードを話と演奏でつづる

- 3/16~17 ダンス選手権大会
全日本オープンダンス選手権大会
- 3/23 ティータイム・クラシック
気軽に室内楽を楽しむコンサート

邦楽ホール
Hougaku Hall



- 9/12 祝賀演奏会
望月朴清、地元邦楽舞踊家
- 9/14-15 邦楽舞踊至芸つどう
邦楽舞踊界の第一人者による最高の舞台
- 9/16 邦楽舞踊いしかわの伝統芸
素囃子、三曲、長唄、小唄、清元、舞踊
- 9/18 全羅北道立国楽院公演
韓国全羅北道からの芸能団の招へい
- 9/22 石川の民謡・太鼓
県内の民謡太鼓を網羅
- 9/24 松竹大歌舞伎
全国公立文化施設協会の統一企画による地方巡回公演

- 11/2 雅楽千年
伶楽舎公演 音楽監督 芝祐靖
- 11/9 江蘇省歌舞劇院公演
中国江蘇省からの芸能団の招へい
- 11/16 三大流派競演能
北國宝生会と観世流、金春流が加わった三流派の共演
- 11/23 こども太鼓フェスティバル
日本太鼓ジュニアコンクール石川県大会とあわせて共演
- 12/1 座敷舞「舞の会」
京阪の座敷舞の「舞の会」を再現
- 12/3 シューベルト・アンサンブル
ヴァイオリン サイモン・ブレンティス
- 12/7 演劇公演「すべて世は事も無し」
加藤健一事務所による演劇公演
- 12/10 ジャズドラムセッション公演
トッププレイヤーのデビッド・ジョーンズ出演
- 12/24 無名塾「ウィンザーの陽気な女房たち」
仲代達矢ほか無名塾の出演
- 12/25 クリスマス親子劇場
こんじやく座によるオペラ公演
- 12/26 プラスアンサンブルの夕べ
トランペット ジェフリー・ペイン

- 1/6 焔太鼓公演
国内外で高い評価を得ている焔太鼓の公演
- 1/13 金沢みやび選
金沢の芸妓衆による公演
- 1/20 大学サークル邦楽コンサート
各大学の邦楽サークルのメンバーによる公演
- 1/26 新春名人寄席
落語界の第一人者による公演

- 2/3 ジャズ&アジアコンサート
県内のアマチュアジャズバンドと和楽器の共演
- 2/11 北陸邦楽舞踊新進会
新進邦楽・舞踊家に加え、富山・福井県からも出演
- 3/3 民俗芸能公演
民俗芸能や地歌舞伎などの共演
- 3/5 ヴェンツェル・フックス&OEK室内楽公演
クラリネット ヴェンツェル・フックス

●チケットのお問い合わせ

石川県立音楽堂・(財)石川県音楽文化振興事業団

TEL 076 (232) 8632 FAX 076 (232) 0172

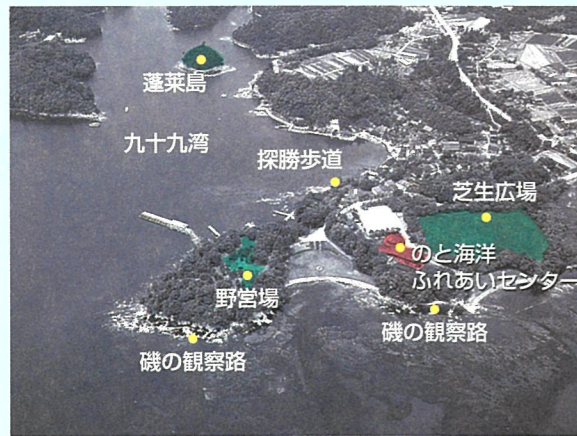
21世紀を



空からみた石川

能登半島国定公園 九十九湾園地

能登半島国定公園の代表的な景勝地として名高い内浦町九十九湾。その一角には、のと海洋ふれあいセンターを核とする九十九湾園地が広がり、海の自然体験学習の拠点として整備が進んでいます。



平成13年6月撮影 (内浦町越坂)

海と遊び、海を楽しみ、海に学ぶ
自然を体験する施設が充実

のと海洋ふれあい
センターが
さらに魅力アップ

能登有料道路の終点・穴水
此木インターから、車で約一
時間。波静かな九十九湾園地
に、「のと海洋ふれあいセン
ター」があります。同センター
は、石川県の浅海域の調査・
研究を行うとともに、能登の
海と生物について楽しく学べ
る体験型の学習施設です。

家族連れでにぎわう夏休み
には、シユノーケリング講習
会や海藻を使った絵はがきづ
くり、貝細工が体験できます。
そして、十六年春のオープ
ンを目指して、新たな施設が
間もなく着工の予定です。ウ
ニやナマコ、ヒトデなどにさ
われる屋外タッチプールやレ
クチャールーム、シャワー室
を備えたシユノーケリング・
ステーションなどを計画して
います。

日本百景の
九十九湾で
アウトドアの
だいたい味を満喫

深い入り江に抱かれた九十
九湾は、その美しさから日本
百景の一つに数えられています。
遊覧船が発着し、ガラス
張りの船底からは、ホンダワ
ラの海中林や海藻の間を泳ぐ
さまざまな魚を観察できます。
この九十九湾に面する園地
には、海岸に沿って磯の観察
路が整備されています。のん
びりと散策したり、潮だまり
に暮らすイソガニやヤドカリ
などを見つけて遊ぶもよし、
磯で楽しく過ごすことができ
ます。

このほか、五ヘクタールの
広さを持つ園内には、キャン
プ場や芝生広場もあり、自然
の素晴らしさを体感できるス
ポットとして、年々人気が高
まっています。

●お問い合わせ

のと海洋
ふれあいセンター

TEL 0768 (74) 1919

FAX 0768 (74) 1920

〒927-0552

内浦町越坂3-47

URL ● <http://www.pref.ishikawa.jp/recre/notofure/nmci1.htm> e-mail ● nmci@pref.ishikawa.jp

利家とまつ

シリーズ 第三回

来年三月、「加賀百万石博」が 金沢城址公園で幕開け

来年の大河ドラマ「利家とまつ」で注目の集まる石川の魅力を全国に発信するとともに、県民がふるさとの歴史を再発見するためのイベント「加賀百万石博」を、平成十四年三月二十三日から二十八日九日間にわたって、金沢城址公園・二の丸広場で開催します。

石川の新旧の 魅力を発信

会場はテーマごとに五つのゾーンに分かれていきます。目玉となる「大河ドラマ館」は、二の丸御殿をイメージした外観で、館内には利家とまつが若いころ暮らした長屋の再現や、ドラマのロケ風景、過去の大河ドラマの写真や衣装、小道具などを展示します。ドラマを何倍も楽しめる工夫が盛りだくさんです。

また、大河ドラマの出演者が石川の魅力を大型スクリーンで語る「百万石シアター館」、新旧の石川の魅力を発信する「石川まるごと館」、郷土の自然と人がはぐくんできた工芸・物産品の販売や飲食が楽しめる「楽市楽座」、伝統芸能や各市町村ならではの祭り・イベントを披露する「屋外ステージ」の各ゾーンも、豊かな個性と演出で皆さまをお迎えします。

バスツアーや 旅のガイドブック発行 なども予定

「加賀百万石博」は、観光客の方々を県内各地へ誘う情報発信基地となります。前田家ゆかりの地のバスツアーやウォークラリーを実施し、石川の魅力をまるごと満載した旅のガイドブックを発行するほか、大河ドラマ出演者を招いたトークショーやシンポジウムなど、県内全域が盛り上がる関連事業を、随時開催してまいりますので、ご期待ください。

●ご案内

場 所：金沢城址公園(二の丸広場)

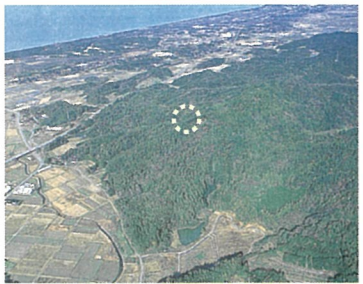
期 間：平成14年3月23日(土)～
平成15年1月5日(日)

入 場 料：大人当日1,000円、前売800円
(菱櫓・五十間長屋にも入場できます)

※前売券は、今年9月の「第18回全国都市緑化いしかわフェア」の開幕にあわせて発売します。

大河ドラマに合わせて見どころ満載

シリーズ すえもりじょうせき ゆかりの地 ③ 末森城跡 (押水町)



写真提供/北國新聞社

戦国時代、末森城は加賀・能登・越中の国境に接する要衝の地でした。天正12年(1584)利家は、末森の合戦で佐々成政を敗って加賀・能登における支配を不動のものとし、越中領有への足掛かりを得ました。現在、城跡は県の史跡に指定され、広々とした台地からは、日本海と宝達山を見わたす見事な眺望が楽しめます。

交通アクセス
JR七尾線宝達駅下車タクシーで5分

お問い合わせ
石川県観光推進総室
(大河ドラマ石川県推進協議会事務局)
TEL. 076 (223) 9461

「利家とまつ」二人の生涯

第三回 金沢城入城 関東平定 [実年期]

●北陸の命運を決した末森合戦

天正十一年(一五八三)の賤ヶ岳の合戦後、七尾から金沢に居城を移した利家は、金沢を「尾山」と改称しました。しかし、この名は定着せず、利家の死の前には、金沢に戻してしまいました。秀吉の覇権に、次に挑戦したのは、信長の次男 織田信雄と結んだ徳川家康です。秀吉と織田・徳川連合軍は、天正十二年(一五八四)三月から、十月月にわたって尾張国の小牧・長久手で戦います。越中富山の佐々成政は、はじめ秀吉方についたのですが、織田家への忠誠を守って、秀吉方の利家と北陸で戦うことになりました。

成政は同年八月から、加賀や能登へ兵を出します。そして九月、前田領の加賀・能登分断をねらって、ほぼ中間の末森城(押水町)を二万五千の大軍で包囲しました。守るのは奥村家福(のち水福)ら千五百。急の知らせに、利家は松任城の利勝(のち利長)と共に出陣し、わずか二千五百の兵で佐々軍を退け、救援に成功します。

●「家来こそ大事」利家を動かしたまつという言葉

このとき、まつは、家臣たちに、「もし救援に失敗したら生きて帰るな。私も皆様の家族と一緒に金沢城で死ぬ覚悟だ」と激励したとされ、戦国期を代表する賢夫人」とたたえられました。しかし、実際は、秀吉から軽率な行動を止められていた利家に「大切な家来を見殺しにしてはなりません」と出陣を決意させ、蓄財に努めてきた利家が兵力の少なさを嘆くと、「お金より人です」という私の忠告を聞かないからですよ。この金銀を召し連れて槍を突かせてはいかか」と皮肉って、その士気を鼓舞したというのが真相のようです。

末森の合戦で前田軍は、佐々軍に圧勝したわけではなく、追撃する余力もありませんでした。しかし、翌天正十三年(一五八五)の秀吉による越中平定で、越中の三郡(富山県の西半分)が利勝に与えられ、前田領は加越能三ヶ国にわたり七十余万石が増えます。利家は秀吉から「羽柴筑前守」の名を譲られ、豊臣政権に参加します。このため、「加賀百万石」のもとをつくった合戦として重視されるのです。

●誠実な人柄から、豊臣政権の重要人物に

天正十八年(一五九〇)、秀吉は小田原(神奈川県)の北条氏を討つため大軍を動員しました。このとき、羽咋の気多社にまつが夫や息子たちの武運を祈った手紙に、利家の年齢を「五十四」と記してあり、前田家の通説とは別に、利家は天文六年(一五三七)の生まれで、秀吉と同じ年と見る説が再評価されています。

北条氏邦(とくに)が守る鉢形城(埼玉県寄居町)の攻略に二月かかって、秀吉に叱責された利家は、八王子城(東京都)を一日で攻め落とし、戦死者も多数出ました。利家は、八王子で戦死した家臣三輪吉富(とくに)の計報を、七尾にいたその父吉宗に二度書いて悼んでいます。目を患った利政とその看病をしていたまつも、京都から弔文を送りました。四十四歳のまつは吉宗夫人に、「私が金沢にいるのなら、すぐに七尾に行つて慰めてあげられるのに、京都からではそれもできない。決して一人で悲しみ続けられないように」と書いています。

利家は、このあと関東から東北へと転戦して、秀吉の天下統一事業を完成させました。降伏した人々が利家に仕え、また東国の大名たちは、秀吉に従うための取り次ぎを依頼します。利家の誠実な人柄が大名たちに信頼されたのですが、それを陰で支えて一族や家臣をまとめた、まつ働きを見逃すことはできません。

(県立図書館 瀬戸薫談)

INTERVIEW
インタビュー

女優
なかはらかなん
中原果南さん

■プロフィール

昭和46年生まれ。東京都出身。平成2年、無名塾入塾。6年、NHK朝の連続テレビ小説『春よ来い』に準レギュラー出演。8年、民放のテレビドラマ『はるちゃん』の主演に抜てきされ、お茶の間の人気者に。今年7月からは舞台を長野・浅間温泉に移した『はるちゃん5』が放映される。



石川県とは縁の深い劇団無名塾の出身で、山中温泉を舞台にした人気ドラマ『はるちゃん』のヒロインとしてもおなじみの女優中原果南さん。今年十月、能登演劇堂で幕を開ける『ウィンザーの陽気な女房たち』（シエイクスピア作）への出演も決まった中原さんを訪ねました。

心からくつろげるわたしの田舎、石川

成人式も中島町で

東京都のわたしにとって、石川県は特別な土地です。心休まる田舎のにおいがする、と言ったらいいかしら。

あれは、無名塾の塾生となつてすぐの合宿でした。東京から長時間、ぎゅうぎゅう詰めのワゴン車に揺られ、着いた先が中島町でした。辺り一面に広がる青々とした稲が、大きく呼吸するように風に波打つ景色を見ながら、「ここからわたしの新しい人生が始まるんだわ」と、感動したことを覚えています。

そして、合宿生活では、ボランティアの町民の皆さんが採れたての野菜で作ってくれた料理を、おなかいっぱい食べました。まさに「おふくろの味」でした。また、成人式が冬の合宿と重なったため、中島町の式に出席させていただいたんですよ。

親の前のような
照れくささ

そんなこともあって、能登演劇堂の舞台に初めて立ったとき、なんだか両親の目の前で演技するような、照れくさい気持ちがありました。

山中温泉で行われた『はるちゃん』のロケでも、初の主演とあって緊張感でいっぱいなのを、多くの方が励ましてくれました。ロケの合間に大切なカギを落としたときなんか

は、近くの商店街から何人もの人が出てきて、一緒になって探してくださったことも懐かしい思い出です。

難しいコメディに挑む

『ウィンザーの陽気な女房たち』では、ストーリーをかき回す小悪魔的な召使いクイックリー役にふんじます。主演は、師匠の仲代達矢さんで、仲代さんとの共演は初めての経験です。

役者にとってコメディは難しい分野ですが、わたしの転機をいつも温かく見守ってきてくださった石川の皆さんに、最高の芝居をお見せしたいと張り切っています。ぜひ、応援に来てください。



『ウィンザーの陽気な女房たち』の制作発表会にのぞむ中原さん。右端が仲代達矢さん(平成13年4月9日)



石川のごどもたち！
自然の中へ飛び出そう

学校 みんなに農業を体験してもらおう授業をやっていました。楽しく野菜を栽培したり、ニワトリの世話をしたり、羊の毛から糸を作ったりするそれで、三年先まで予約でいっぱいとのことでした。

施設の先生から、一週間の授業で子どもたちが、自然の優しさや奥行きが深さ、人とかかわりなどを学んでも成長するという話を聞きながら、「これはぜひ石川県でもやってみたい」と思いました。

実現に向けて課題はいっぱいありますが、どんな方法でやればいいのか、わたしのこの夏の宿題のひとつとして考えてみます。そして、石川の子どもたちが、たくましく、心やさしい人に育つことを期待して、がんばってやってみます。

smile 石川のボランティア ほほえみ



併設の「グリーンファーム もぐ」で、箱折りに精を出す通所者の皆さん。笑い声の絶えない明るい職場です。

障害児に対する
差別を解消したい

知的障害児を持つ保護者でつくる「さざんかの会」は、障害児が自立して暮らしていけるよう、地域社会の理解と協力を深めるための取り組みに力を入れています。

その一つが、一般の乳幼児や小学生も参加する「おもちゃ図書館」です。毎月第二、第四水曜日の午後1時に開き、おもちゃ遊びをしながら「障害とは何か」を自然に学んでもらい、障害児に対する偏見や差別の解消に努めています。

今春、小規模作業所を開設

「さざんかの会」事務局は国道8号曾宇町交差点の近くにあり、「おもちゃ図書館」のほか、障害児児童保育

加賀江沼知的障害児を持つ親の会

「さざんかの会」
「おもちゃ図書館」を通して交流と理解を深める

や心身障害者の自立を支援する小規模作業所「グリーンファーム もぐ」を併設しています。今年四月スタートした小規模作業所では、花の栽培やドライフラワー、リース、竹細工などをつくり、販売もしています。会長の大井妙子さんをはじめ會員の皆さんは、「障害の有無に関係なく、だれもが生きがいを持てる社会の実現が目標です。活動をサポートしていただけるボランティアを募集しています」と話しています。



おもちゃ図書館では、貸し出しもしています。

●お問い合わせ
加賀江沼知的障害児を持つ親の会
「さざんかの会」
〒922-0831 加賀市幸町2丁目104
TEL/FAX. 0761(73)5856

施設ガイド

石川県埋蔵文化財センター

古代体験ひろば

県内の遺跡の発掘調査や研究、出土品の管理をおこなう県埋蔵文化財センターの敷地内に、今年の五月、「古代体験ひろば」がオープンしました。古代の人々の生活を実際に体験できるとあって連日家族連れなどで大盛況。今回は、金沢市にお住まいの河崎さん一家に、古代ロマンを満喫してもらいました。



自分で作った
まが玉のペンダント。
出来栄はどうか？

古代の火おこしや まが玉づくりに挑戦！

縄文時代の住まいは
工夫がいっぱい

「どんな古代体験ができるのだろう」とわくわくしていたという河崎さん一家。まずは、昔の人が暮らした住居を訪ねてみました。ひろばには、縄文時代の竪穴式住居、弥生時代の土ぶき屋根の住居、かまどのある奈良時代の住居の三棟が復元されています。



再現された弥生時代の土ぶき屋根の住居(左)と奈良時代の住居(右)。

火おこし体験に悪戦苦闘

続いて訪れたのが、古代の人の生活を体験できる「体験工房」です。体験工房ではまず、弥生時代の人が着ていた貫頭衣という服に着替えました。気分はすっかり弥生人です。

最初に挑戦したのが火おこしです。火きり棒を両手ではさみ回転させると、やがて火きり板から煙が立ち始め、四百度の熱を持った火種ができます。その火種をゼンマイワタと麻繊維に移して火をつけます。

早い人なら一分で火がつくそうですが、お父さんは大苦戦。煙は立つのですが、火種がなかなかできません。しかし、お父さんはあきらめず、川畑さんのアドバイスと家族の応援

「どんな古代体験ができるのだろう」とわくわくしていたという河崎さん一家。まずは、昔の人が暮らした住居を訪ねてみました。ひろばには、縄文時代の竪穴式住居、弥生時代の土ぶき屋根の住居、かまどのある奈良時代の住居の三棟が復元されています。

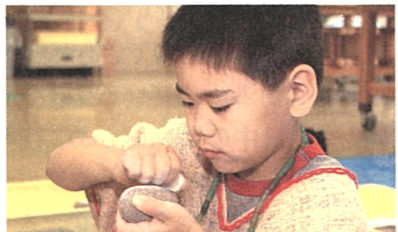
縄文人が暮らした竪穴式住居に入ってみてびっくり。その日はとても蒸し暑い日だったので、中はとても涼しかったのです。「竪穴式住居は、床が地面より一段下になっているので、年間を通じて室内の温度差が少ないという利点があります」とその秘密を川畑誠企画課主査が教えてくれました。

住居の中は三層構造になっていました。当時は、二層目の床板から肉や魚をつるして、いろいろで火を使ったときに立ち上る煙を使ってくん製を作っていたそうです。「縄文人の知恵には、驚かされますね」とみんなは口をそろえ、感心していました。

「簡単なだと思っていたんですけど、実際にやってみるとかなりの力が必要なんですよ」とお父さんは、苦労を語ります。

まが玉づくりに熱中

古代のアクセサリーであるまが玉づくりに挑戦しました。加工しやすい滑石を用い、外側をきれいに丸くして、竹さりで穴を開け



元気いっぱいの遼太くんも夢中でまが玉を磨き上げます。

古代の暮らしにちなんだ 体験メニューがいっぱい

このほか古代体験ひろばには、七月なら土偶づくり、復元石器を使ったパークラフトなど、古代の暮らしにちなんださまざまな体験プログラムが用意されていました。

遼太くんは「今度、来たときは絶対に土偶づくりをしようね」と、まだまだ遊び足りない様子。「緑の中で、古代の生活を肌で感じる事ができました。月ごとに体験メニューが変わるそうなので、また来たいですね」とお母さんも大満足でした。



火おこし体験は古代体験ひろばで一番の人気。弥生人が着ていた貫頭衣を身に付けて挑戦。さて、うまく火がつくかな？



【見学者】金沢市長土堀3丁目
河崎 和洋さん(自営業) 恵美さん(主婦)
彩乃さん(12歳) 晋伍くん(9歳)
遼太くん(6歳)

【行事】

古代住居建築体験	開催日：9月16日(日) 定員：20人 申し込み：8月20日(月)～
体験農園収穫祭り	開催日：10月13日(土) 申し込み：不要
古代機織り体験	開催日：3月3日(日) 定員：30人 申し込み：2月4日(月)～
体験コース	個人体験：予約不要 団体体験：要予約

※古代体験ひろばでは、月替わりで体験プログラムが用意されています。詳しい内容については、県埋蔵文化財センター企画課までお問い合わせください。



【利用案内】 体験工房

開園時間	午前9時～午後5時 (入園は午後4時30分まで)
休園日	年末年始 (12月29日～翌年1月3日)
入園料	無料



●お問い合わせ
(財)石川県埋蔵文化財センター
TEL. 076(229)4477 FAX. 076(229)3731
〒920-1336 金沢市中戸町18番地1
URL http://www.ishikawa-maibun.or.jp/

広報誌アンケート

にご協力ください!!

皆さまの声をとじ込みはがきでお寄せください。ご回答いただいた中から抽選で200人に、兼六園周辺文化施設(県立美術館、県立歴史博物館、県立伝統産業工芸館、石川近代文学館、藩老本多蔵品館)鑑賞パスポートを2枚セットでプレゼントします。

※アンケートの締め切りは平成13年9月30日(当日消印有効)



Q1 県の広報誌「ほっと石川」(本誌)をお読みになっていますか。アンケートはがきのあてはまる番号に○をつけてください。

- ① 毎回読んでいる ② 時々読んでいる
- ③ ほとんど読んでいない

Q2 本誌を読んで、どのような印象を持たれましたか。あてはまるものに○をつけてください。

(ア) 企画について

- ① よい ② どちらともいえない ③ よくない

(イ) 文章や文字など読みやすさについて

- ① よい ② どちらともいえない ③ よくない

(ウ) レイアウトや写真、イラストなどのデザインについて

- ① よい ② どちらともいえない ③ よくない

Q3 本誌を読んで、「よいと思ったもの」と「よくないと思ったもの」に○をつけてください。(いくつでも結構です)

- ① 特集(高校生県政ニュース)
- ② 空からみた石川(能登半島国定公園九十九湾園地)
- ③ 利家とまつシリーズ ④ インタビュー
- ⑤ 知事の窓 ⑥ ほほえみ(さざんかの会)
- ⑦ 施設ガイド(古代体験ひろば)
- ⑧ 暮らしのチエ袋 ⑨ 市町村トピックス(能登島町)
- ⑩ インフォメーション(いしかわ自然学校)
- ⑪ 表紙・裏表紙

Q4 県の広報活動として今後、力を入れるべきものはどれだと思われますか。あてはまるものに○をつけてください。(いくつでも結構です)

- ① 広報誌「ほっと石川」 ② 新聞の「広報いしかわ」
- ③ テレビによる広報 ④ ラジオによる広報
- ⑤ ファクスによる広報
- ⑥ インターネットによる広報 ⑦ その他

Q5 どのような情報を知らせてほしいですか。あてはまるものに○をつけてください。(いくつでも結構です)

- ① 県の主要事業の内容や進み具合
- ② 県の予算の内容 ③ 県の施設の紹介
- ④ 名所案内や観光イベントの紹介
- ⑤ 文化や歴史の紹介
- ⑥ 行事案内等のお知らせ ⑦ その他

Q6 本誌や県の広報活動について、また、県政へのご提言があればご記入ください。

[自由にご記入ください]

ご協力ありがとうございました。

●お問い合わせ 石川県広報広聴室 TEL. 076(223)9106

■石川県からの主な番組、広報物

- 新聞 ● 「広報いしかわ」 / 北國・北陸中日・読売新聞(毎週水曜)、朝日・毎日新聞(年5回水曜)
- テレビ ● 北陸放送「ほっと石川 日曜見聞録」 / 隔週日曜(午前11時15分~11時30分)
- 石川テレビ「ウイークリーいしかわ」 / 毎週日曜(午後5時25分~5時30分)
- テレビ金沢「クイズふるさと再発見」 / 2週おきの日曜(午前7時30分~8時00分)
- 北陸朝日放送「石川ほっとニュース」 / 毎週土曜(午後5時55分~6時00分)
- ラジオ ● 北陸放送「県からのお知らせ」 / 毎週火・金曜(午後2時20分頃~ [3分間])
- エフエム石川「素敵にモーニング」 / 毎週日曜(午前9時55分~10時00分)
- ファクス 076(234)0055 (メニュー情報番号 100#)
- インターネット 石川県ホームページ <http://www.pref.ishikawa.jp/>
- 印刷物 「ほっと石川」 / 全世帯配布、年4回発行

暮らしのチエ袋 21世紀に伝えたい健民のチエ シリーズ②

自然を相手に 楽しく遊ぼう!

テーマキャンプ

夏は、海へ、山へ、豊かな石川の自然に親しむ絶好のチャンス。家族や友人と一緒に作る食事、野外での探検など、楽しみ方もいろいろです。キャンプを快適に、愉快地に過ごすためのアイデアを紹介します。



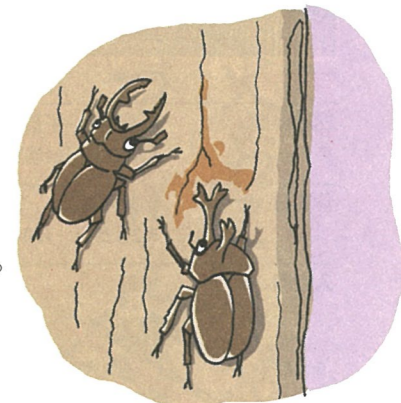
環境にやさしい工夫を

- メニューをあらかじめ決め、必要な量だけ切った野菜、下味をつけた肉などを密閉容器に入れていけば、手間が省けるうえ、余分なごみが出ない。
- 水を大切に使うため、大きななべやバケツにお湯で薄めた洗剤水を作り、ロールペーパーなどでふき取った食器をまとめて洗う。最後は流水ですすぐ。
- 帰る際には、たき火の後始末をはじめ、周辺に落ちているごみを拾う。「来たときより美しく」がマナーです。次に利用する人のことを考えて!



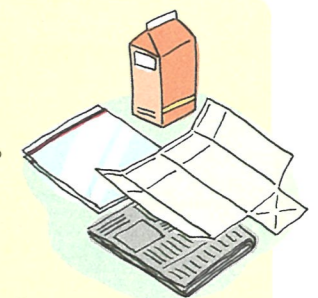
虫、魚と友達になれる

- 竹の小枝を輪にして別の竹の先に差し込み、クモの巣をいっぱい絡ませれば虫採り網のできあがり。セミ採りに効果抜群。
- 樹液の出ているクヌギやコナラなどの場所を日中の間に確かめ、夜明け前に行ってみよう。きつとカブト虫やクワガタが見つかるぞ。
- 川遊びや海水浴のとき、水中眼鏡のくもりを取るには、ヨモギや海藻でふくとよい。



お役立ちグッズ

- 牛乳パック 火持ちのよい燃料になる。切って開けば、まな板代わりにもなる。
- 新聞紙 敷物や防寒、燃料補助材、荷物のパッキング、ぞうきんの代用になる。
- ジッパー付きポリ袋 かさばらず、完全な密閉が可能。におい漏れがなく、湿気も防いでくれる。



●参照

『豊かな暮らしのチエ袋』

●お問い合わせ

石川県健民運動推進本部

TEL. 076(223)9113



親子で一緒にもぐれば楽しさも倍増 (昨年8月、内浦町の九十九湾)。

いしかわ自然学校に あなたも“入学”しませんか

自然を身近に感じ、自然の大切さや素晴らしさを楽しんでいただける「いしかわ自然学校」は、子どもが好奇心を膨らませ、たくましく成長する場、親子がふれあう絶好の場になります。

「いしかわ自然学校」は、「いしかわ子どもすくすくプラン」が目指す「自ら学び、考え、行動する、思いやりのある、たくましい子ども」を育てます。また、幅広い年齢の方が参加できるように、多彩なプログラムも用意しています。単位を取得すれば「いしかわ自然マスター」にも、認定されます。

自然と生態のまなび舎

「夏の体験自然スクール」

親子でネイチャーゲームを楽しみながら、森と動物のかかわりを学ぶ

日時：9月16日(日) 午前10時～正午

場所：辰口丘陵公園

対象：3～5歳の幼児とその保護者

いきいき交流体験

「白山登山」

一度は登ってみよう！日本百名山の白山にチャレンジ

日時：9月21日(金) 午後6時

場所：白山ろく少年自然の家(尾口村)

対象：親子および一般

いきいき交流体験

「悠久の流れふたたびPart2」

シーカヤック(カヌー)で宝さがし、りんご狩り、海鮮なべもあるゾ！

日時：9月22日(土) 午後1時

場所：能登少年自然の家(内浦町)

対象：小中学生とその保護者

センス・オブ・ワンダーの集い 心いやされる美しい世界へ

自然の神秘や不思議さに目を見張る感性の大切さを訴え続けた、アメリカの海洋生物学者レイチェル・カーソンさん。彼女のメッセージである「センス・オブ・ワンダー」の世界を、美しい映像と朗読で追体験できるとっておきの企画です。翻訳者の上遠恵子さんの対談もあります。

日時：9月22日(土)
午前10時、午後2時、6時
(上映と対談を1日3回行います)
場所：石川県文教会館1階ホール

●お問い合わせ
いしかわ自然学校事務局
TEL 076 (232) 3991
〒920-0918 金沢市尾山町10-5
石川県文教会館 県民エコステーション内
URL <http://www.eco-partner.net>

「島の湯」 ひよっこり温泉

七尾湾が一望できる露天風呂をぜひ

「島の湯」は今年七月、佐波海岸に面するマリナーパーク海族公園の中核施設としてオープンしました。約二平方メートルの屋敷風の建物には、サウナやジャグジーを備えた和風と洋風の大浴場があり、交代で男湯と女湯になります。そして、最大の売り物は、七尾湾の大パノラマが広がる露天風呂で、晴れた日には遠く立山連峰まで眺めることができます。このほか、貸し切りの家族風呂や砂風呂があり、男女別のリラクゼーションや百畳の休憩室、食堂なども備えて、利用者がゆったりとくつろげる施設づくりを心がけています。

マリナーパーク海族公園には多目的芝生広場や海水浴場も整備されています。ひと泳ぎの後、ぜひ天然温泉でくつろぎください。

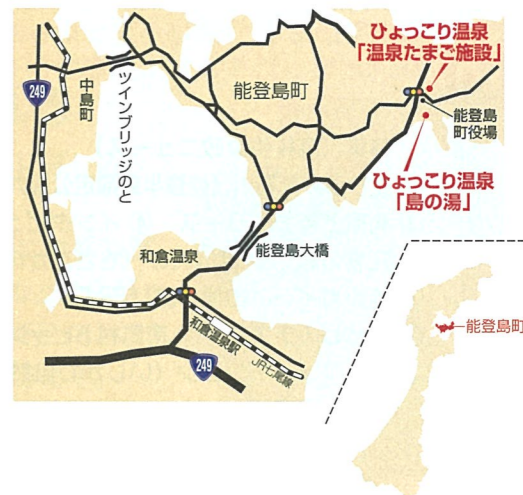
【利用案内】
営業時間／午前9時から午後10時
(冬期は午後9時まで)
休館日／12月31日、1月1日
入浴料／大人(中学生以上) 450円、小学生200円、幼児は無料
家族風呂1室60分利用1000円
(以降30分ごとにプラス500円入浴料別)
砂風呂1回 1000円(入浴料別)
回数券／12枚つづり 大人4500円、小学生2000円



●お問い合わせ
ひよっこり温泉「島の湯」
〒926-0212 能登島町字佐波ラ29-1
TEL 0767 (84) 0033



開放感満点！青い海を眺めながら入浴を。露天風呂は、和洋両方の大浴場にありま



ひよっこり温泉 「温泉たまご施設」

お手製の温泉たまごはいかが

ひよっこり温泉の源泉がある総合健康センターの敷地内では、温泉を利用したさまざまなサービスを行っています。

湯の中に卵を約二十分間つければ、温泉たまごが出来上がる源泉槽もその一つ。町内外を問わず、だれでも卵を持ち込んで手軽に作れる点が大変好評です。お手製のお土産というのも、夏休みのいい思い出になりますよ。

また、敷地内には、無料の温泉スタンドがあり、家で温泉気分をという方にはうってつけです。町内の民



温泉の名にちなみ、ひょうたん形が目印の、卵をつける源泉槽。

●お問い合わせ
能登島町企画観光課
〒926-0292 能登島町字向田ろー1
TEL 0767 (84) 1111



シタケの菌打ちも体験しました (今年4月、夕日寺健民自然園)。

山のまなび舎

「白山まるごと体験教室⑥」

虫の音、川の音など自然が奏でるネイチャーコンサート

日時：9月29日(土) 午後3時～6時

場所：白山自然保護センター中宮展示館

対象：子どもから一般まで

※一部を除き、参加費が必要です。
※10月以降のプログラムは、8月に発行の秋・冬のパンフレット、または、ホームページをご覧ください。
<http://www.pref.ishikawa.jp/shizengakou>

市町村TOPICS

能登島町

充実したスポーツ・レジャー施設や水族館、ガラス美術館など、リゾートアイランドとして注目の能登島町に、新たに温泉の魅力が増えました。人気番組「ひよっこりひょうたん島」から名付けた「ひよっこり温泉」を利用した施設をご紹介します。

能登島町ホームページ ● <http://www.town.notojima.ishikawa.jp/>



県政に対する ご意見・ご提言を お寄せください



前略 石川県知事

住所・郵便番号・氏名・年齢・職業をご記入のうえ、郵便またはファクスでお送りください。

〒920-8580(住所の記入不要)
石川県広報広聴室「前略 石川県知事」あて
FAX. 076(223)9474

ホームページでもみなさんからのご意見をお待ちしています。

- 知事のホームページの提言コーナー
- いしかわ夢づくりEメール

県のホームページからアクセスしてください。
<http://www.pref.ishikawa.jp/>

ほっと石川 参加者募集!

県民参加型の広報誌を目指す「ほっと石川」では、「施設ガイド」コーナーに参加していただけるご家族を募集しています。

- お問い合わせ、お申し込みは、
〒920-8580(住所の記入不要)
石川県広報広聴室「ほっと石川」係
TEL. 076(223)9106

住所・氏名・年齢・職業・家族構成・電話番号を明記してください。

編集後記

●日本広報協会の全国広報コンクール「広報紙都道府県部」で、ほっと石川2000新年号が最高賞の総務大臣賞を受賞しました。高校生県政ニュースなど県民の皆さんに登場していただくスタイルの特集が評価されたものです。今後もさまざまな工夫を凝らした誌面づくりに努めてまいります。(M)

●高校生県政ニュースの取材で杵屋喜澄さんのお宅に高校生の皆さんと一緒におじゃました際、鼓(つづみ)に触らせていただきました。思うような音が出せず全員、悪戦苦闘していましたが、日本の伝統芸能の一端にふれることができ、満足そうでした。やはり本物に触れることが大切ですね。(S)

石川県広報誌

「ほっと石川」夏季号 (通巻第21号)
平成13年7月25日発行 (年4回発行)

石川県県民文化局広報広聴室
〒920-8580 金沢市広坂2-1-1
☎076(223)9106

◎石川県の人口(推計) **118万509人** (平成13年6月1日現在)

男	57万1756人
女	60万8753人
世帯数	41万4339世帯 (1世帯あたり2.85人)